

会 議 等 結 果 報 告	
名 称	令和8年度 第2回上富良野町学校給食のあり方検討委員会
日 時	令和8年8月3日（月） 18：00～19：50
場 所	社会教育総合センター 大集会室
出席者	委員10人（別紙）、 上嶋教育振興課長、飯村学校教育班主幹、大田学校教育班主査 学校給食センター 久保主査、田原栄養教諭 計15名（他に傍聴人 1名）
内 容 1 委員長挨拶（岸山委員長） ・本委員会は、単に特定の施設を「建てる・建てない」という内容の決定の場ではなく、各小中学校の代表である学校長やPTA 委員長をはじめとした町民の皆様が集まり、「実際に給食を食べる子どもたちや保護者がどう考えているのか」「どのような給食の提供方法が良いのか」を現実的に考える会である。 ・本日の会議では、現状の課題を踏まえ、上富良野町の規模や土地にふさわしい将来の給食の姿について、委員の皆様と前へ進んだ具体的な議論を行いたい。 2 協議事項（事務局より資料に沿って説明） ○協議事項① 議論のフレーム（再確認） 上嶋教育振興課長より説明。 前回の議論を踏まえ、方向性とゴールの再確認を行う。特定の結論（建て替えや改修）を前提とした議論ではなく、対象となる手法すべてについてフラットに議論し、現状の課題が解消可能な提供方法を検証した上で、最終的に「提言書」として取りまとめる方針を説明した。最終的な成果物となる「提言書」のイメージとして、令和6年から7年にかけて行われた江別市の先行事例を参考に提示。本町としては「①大規模改修」「②改築（新設）」「③民間デリバリー（スクールランチ）方式」「④富良野学校給食センターからの提供配送」の4つの提供手法について比較検証を行う方針を説明。 ■主な意見等 ・岸山委員長 これまでの議論の繰り返しや、逆戻りになるような進行は避けるべき。上富良野町の給食の課題はすでに共有されているため、今回は「提言書」と「アンケート」を具体的に解決させ、一步前進した形にしたい。 ・軽部副委員長 提言書において、望ましい学校給食の「望ましい<u>提供のあり方</u>」と「手法の検討」という構成で良いか。江別市はあくまで「望ましい<u>給食のあり方</u>」を検討している。 ・岸山委員長 全体像を踏まえた上で、<u>給食のあり方</u>を検討する形とする。そうしないとアンケート	

を実施する意味がない。また、提言書については、今の条件や現状を含んだものにした
い。

旭川短大は築 60 年であるが改築を行って使用している。上富良野給食センターも、エ
アコン設置や床を変え、ボイラーを変えれば何らかの別の手立てが可能ではないか、そこ
にスクールランチも活用するなど、提言書は 3 つほどの案をエビデンスを添えて提示する
方向で進めたい。

○協議事項② 提言書のイメージ（提言書の参考例）

○協議事項③ 手法の検討（手法の検討項目）

（1）現給食センターの大規模改修

（2）改築（新築）

飯村主幹より一括説明。

江別市の提言書のイメージを参考にしつつ、上富良野町独自の提言書を作成したい。提
言の案については、新築 1 択のような単一の結論を出すのではなく、アンケート結果を踏
まえて「複数案」を並列で提示し、最終的な財政判断は町長などの理事者に委ねる形が良
いのではないかと。自前調理を行う「①現給食センターの大規模改修」と「②改築（新設）」
の 2 手法について、コスト、耐用年数、HACCP 対応、工事期間中の対応等の観点から、当日
資料に基づき比較説明を行った。

■主な意見等

・ 軽部副委員長

大規模改修と改築の 2 手法について、提言の下に提供のあり方を位置づける形で良い
か。また、富良野市からの提供配送については、当日資料に「提供は厳しい（対応は厳
しい）」とあるが、富良野市のセンターにお金を出していないのであれば、「うちから職
員を派遣するから入れてほしい」という形で交渉の余地はないのか。

また、今お金が苦しいからといって改修に逃げても、また 20 年後には同様の建て替
え問題が発生する。また、給食センターの空調設備等の整備等の労働環境の改善として
計画に入っているという認識で良いか。

・ 上嶋課長

そこについては、広域連合の中で確認していく。また、労働環境整備は衛生管理の面
から空調設備の整備は当然計画に入れる。

・ 岸山委員長

アレルギー対応については国の指針があるため、「やれる範囲でやる」ではなく「や
る（対応を完了させる）」という姿勢で臨む必要がある。旭川短大では築 60 年の古い
厨房で配管が腐って落ちたが、改築で対応し、今も耐震で建て替えてやっている。運営
方法は変わるが栄養教諭がいるので給食の内容自体は変わらない。課題は「場所」と
「お金」に絞られる。

・ 森井委員

北広島市の事例では、総額 32 億円の施設を、実質的な町持ち出し約 7 億円で新設し
たとある。防衛予算の活用等についてはどうなっているか。

・ 大田主査

防衛の補助において、1 自治体に 1 度のみ 7 割補助による建設を実施していたとの

こと。

○協議事項④ 学校給食アンケートについて

大田主査より説明

児童生徒、保護者、教職員を対象としたアンケート案について、前回の指摘事項（小1の除外、温度設問の分離、残食理由の矛盾解消、完食指導の目的明確化等）を反映した修正内容を説明した。R8.3の会議録を基に分かりやすく修正し、大前提として何のために行うのかという目的を整理した。建て替えの賛否を問う質問ではなく、現状を把握し、今後どうしていくかを定めるための基本データとして活用する。自由記述欄も確保している。

■主な意見等

・岸山委員長

すっきりして分かりやすく、何のために実施するのか目的が明確である。

・桑原委員

児童生徒用アンケートの「質問9（完食）」と「質問10（事前減量）」の順番を逆にするとスムーズに質問に行ける。また、学年を選択する設問について、複数選択ではなく単一選択にする。

・軽部副委員長

保護者・教職員用アンケートの「質問4（学校での給食指導について）」は削除する。（※完食すべきかを聞く理由が曖昧であり無理に食べさせるのもよくない）

児童生徒用アンケートの「質問8（給食時間は足りていますか）」は削除する。準備や片付けの速度は学級によって異なり、子どもによってスピード（速度）は異なる。また、メニューによっても左右される項目であるため、この設問は日々工夫して指導している現場の先生に対して失礼にあたる。他のタイミングで確認すべきである。

・森井委員

質問8を削除するならば、質問11の選択肢3にある「食べる時間が足りないから」という残食理由の項目はどうするのか。

・岸山委員長

給食を残す側の実態を把握するため、選択肢の方は残しておいた方が良い。

・金山委員

教職員用アンケートの個別化が必要であり、教職員向けには、質問をさらに絞って実施すべき。アンケートは「児童生徒用」「保護者用」「教職員用」の3パターンに分けて作成とし、教職員は質問3・6・7・8のみが良い。

■まとめ

アンケートは、委員から出された上記修正

児童の給食時間質問の削除、WEBスキップ分岐の設定、保護者用Q4の削除、教職員用の設問精選による3パターン化を反映させた上で、8月の夏休み明けに実施することで承認された。

3 その他（今後のみ通し・広域連携等について）

・金山委員

今後の見通しとして、数年後に新築することは難しい。保護者としての安全・安心を考えれば新築一択であると私は考えるが、町に財源がない。出せないのであれば、この町と町の上の方の人たち（理事者等）が動いてくれないとどうにもならない。手法があっても選べるわけで

はない。提言書を作っても次も同じ財源の議論になる。それならば、町の防災の話や食品の町の話をするのであれば、いち教育委員会に諮問するのではなく、「町（理事者）で考えてください。ぜひ町で子どもたちの未来を考えてください」という提言書にしてはどうか。規模間としても富良野沿線で話さないとならないような、うちの町だけではどうしようもない状態で話し合っており、我々にはどうすることもできない。今後 10 年 20 年でどうしたらいいのかを確認していく必要がある。

- ・上嶋教育振興課長

江別市でも財政面については「不明」ということで首長に投げ返している。富良野広域の給食センターでは上富良野町の提供数をカバーすることは対応が厳しいということもあった。どれくらいの圏域のことができるのか、町がどうしなければならないのか、次回は広域連合としても確認していく。

- ・岸山委員長

皆さんが「我々の力ではどうしようもない」という、どう転ぶかわからない状態で進めてもごちゃごちゃになってしまう。広域連合が進むか進まないかの 2 案で進めていけば良いのではないか。

- ・軽部副委員長

例えば、富良野市が築 20 年なので、お金を出すからそちらを増築して、こちらに配送してもらうようなことはできないのか。4 つ 5 つの町が集まって実施している事例もある。

- ・上嶋教育振興課長

そこについては広域で確認していく。

- ・岸山委員長

広域連合の枠組みを無視して考えるのか、長期的に考えてみるのか。改修による延命だとお金を捨ててしまうのではないかとも思う。広域連合が機能する場合と機能しない場合の 2 パターンで進めていければ良いのではないか。

いずれにしろ、江別の提言書のように、委員の生々しい意見が反映されればと思っている。

■閉会

次回開催を確認し閉会した。

次回開催 令和 8 年 10 月 22 日 18 時から

※アンケートの結果報告、「民間デリバリー（スクールランチ）方式」を中心とした試食会を予定し協議を行う。

その他時期を見て、先進地の施設視察を実施する。

上記内容を確認し、19 時 50 分に閉会した。